

人間文化創成科学研究科（博士後期課程）担当教員一覧

- （注１）◎は、2026年度末をもって退職予定であり、○は2027年度末をもって退職予定の教員である。
 なお、2025年度末（2026年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。
 （注２）※は、領域代表である。
 （注３）GSCは、Global Students Course担当可能教員である。
 （注４）＊印の教員は、主任指導教員として志望できない。
 （注５）（ ）は、他専攻の兼任教員であり、当該専攻では主任指導教員にはならない。

2025年6月1日現在

☎ 03-5978- （下記☎参照）

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures		国際日本学領域 Japanese Studies in a Global Perspective	
担 当 教 員 Position Name	授 業 科 目 Main Subject	研 究 テ ー マ 又 は 研 究 分 野	
教授 ○ 浅田 徹 ASADA Toru ☎(5199)	日本中世言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Kamakura and Muromachi Periods	【日本中世文学】平安末期から近世初期までの和歌を中心に、社会の中にシステムとして組み込まれた文芸のありかた（『勅撰和歌集』『歌道家』『古今伝授』等）を考察する。その他諸ジャンルにおける秘伝の成立などに関心を持っている。 e-mail: asada.toru@ocha.ac.jp	
教授 Professor 神田 由築 KANDA Yutsuki ☎(5182)	日本近世史研究 Japanese Modern History	【日本近世史】近世の都市や地域社会の構造を、芸能興行など文化的活動の場という視点から捉え直そうとしている。特に、都市や市場に集まる芸能民や商人、遊女、侠客などの集団に関心がある。 e-mail: kanda.yutsuki@ocha.ac.jp	
教授 Professor 谷口 幸代 TANIGUCHI Sachiyo ☎(5206)	日本近代言語文化論 Japanese Modern Literature and Culture	【日本近代文学】近代の日本文学における日本の古美術の受容とその影響を研究している。特に川端康成の文学における古美術の受容とその変容過程に関心がある。 e-mail: taniguchi.sachiyo@ocha.ac.jp	
教授 Professor 西川 朋美 NISHIKAWA Tomomi ☎(5334)	第二言語習得論 Second Language Acquisition	【第二言語習得】大人・子どもの第二言語習得のメカニズムの解明を目指すとともに、その研究成果の日本語教育への応用を考える。 e-mail: nishikawa.tomomi@ocha.ac.jp	
教授 Professor 藤川 玲満 FUJIKAWA Reman ☎(5202)	日本近世言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Edo Period	【日本近世文学】秋里籬島を中心に、近世中後期上方の文学とこれに関わる出版文化について研究している。 e-mail: fujikawa.reman@ocha.ac.jp	
教授 Professor 水村 真由美 MIZUMURA Mayumi ☎(5264)	舞踊文化分析論 Cultural Analysis of Dancing	【身体運動科学】舞踊を含む身体運動全般を、生理学およびバイオメカニクスの手法により調査している。トレーニングや練習といったくり返しの運動によって、身体諸機能や動作が変容する可能性に関心をもっている。 e-mail: mizumura.mayumi@ocha.ac.jp	
教授 Professor 宮内 貴久 MIYAUCHI Takahisa ☎(5797)	日本民俗文化論 Japanese Folk Culture	【日本民俗学、文化人類学】日本の民俗文化、主として建築文化と住生活について関心がある。特に日本における風水の受容について取り組んでいる。また、口頭伝承だけでなく、書籍、出版、読書生活、リテラシーを通して生活文化の中における文字文化の位相についても研究を進めている。 e-mail: miyauchi.takahisa@ocha.ac.jp	
教授 Professor 宮下 聡子 MIYASHITA Satoko ☎(5167)	文化思想分析論 Japanese Culture and Thought	【倫理学】倫理と心理と宗教の接点を探るというテーマのもと、人間のあり方について人間の内面と超越次元との関わりにおいて考察している。主として、ユング、フランクフル、フロム、キューブラー＝ロスといった精神科医、心理学者の思想を研究対象としているが、上記のテーマに関わる思想であれば、洋の東西を問わず、研究対象となり得る。 e-mail: miyashita.satoko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 石井 久美子 ISHII Kumiko ☎(5205)	日本語情報論 Information Theory of Japanese Language	【日本語学】近代から現代の日本語の語彙・表記について研究している。特に、外来語の受容と定着の様相に関心を持っている。 e-mail: ishii.kumiko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 埋忠 美沙 UMETADA Misa ☎(5782)	日本伝統芸能論 Traditional Performing Arts	【日本近世・近代演劇】河竹黙阿弥を中心に、幕末明治の歌舞伎及びそれと関係する演劇を研究している。 e-mail: umetada.misa@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 遠藤 みどり ENDO Midori ☎(5183)	日本古代史研究 Japanese Ancient History	【日本古代史】日本古代の天皇制がどのように始まり、続いていくのかについて、キサキや後宮制度、皇太子に注目して研究している。 e-mail: endo.midori@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ☎(5178)	日本中世史研究 Japanese Medieval History	【日本中世史】権力による支配構造の解明に取り組んでいる。朝廷や幕府といった中央権力に限定せず、地域権力も検討の対象とし、中央と地域との繋がりに注目している。 e-mail: oyabu.umi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 加藤 夢三 KATO Yumezo ☎(5102)	日本現代言語文化論 Japanese Contemporary Literature and Culture	【日本近代文学】主にモダニズムと呼ばれる戦間期の文学と思想の関わりを研究している。 e-mail: kato.yumezo@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ※ 竹村 明日香 TAKEMURA Asuka ☎(5203)	日本語分析論 Analysis of Japanese Language	【日本語史】語伝書やキリシタン資料を用いて発音の歴史（音韻史）について主に研究している。上方落語にみられる方言の語彙についても関心がある。 e-mail: takemura.asuka@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 西坂 祥平 NISHIZAKA Shohei ☎(5213)	日本語教育論 Japanese Language Education	【日本語教育学】第二言語としての日本語の習得と学習について量的かつ質的に分析しながら、日本語教育における指導や支援の在り方を考える。 e-mail: nishizaka.shohei@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ☎(5200)	日本中古言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Heian Period	【日本中古文学】『源氏物語』をはじめとする物語文学を中心に、中古文学（平安時代の文学）を研究している。言葉相互の関係に着目した作品解説を主眼とし、社会・制度の歴史や仏教思想と文学作品との関係なども追究している。 e-mail: matsuoaka.tomoyuki@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ☎(5179)	日本近現代史研究 Study of Modern Japanese History	【日本近現代史】日本の近代国家・社会の形成過程について、政治・外交・法制・教育・警察・司法などの観点から多角的に研究している。とくに明治維新の展開構造について中央・地方双方の視点から分析している。 e-mail: yukawa.fumihiko@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer ** 李 址遠 LEE Jiwon ☎(5212)	言語コミュニケーション論演習 Seminar: Language and Communication	【言語人類学、社会言語学】語用とコンテクストという二つの概念を軸に社会における言語使用について考察するとともに、言語人類学の理論的視座の言語教育学への応用を考える。 e-mail: lee.jiwon@ocha.ac.jp	

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures			☎ 03-5978-（下記☎参照）
言語文化論領域 Language, Literature, and Culture			
担当教員 Position	Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野
教授 Professor	伊藤 さとみ ITO Satomi ☎(5218)	中国語圏言語文化論 Chinese Linguistics	【中国語学】現代中国語の文法を形式言語学の視点から研究している。主なテーマは、疑問詞の照応的用法、形容詞の意味論、選択疑問文の研究など。 e-mail: ito.satomi@ocha.ac.jp
教授 Professor	小松 祐子 KOMATSU Sachiko ☎(5239)	仏語圏文化論 Francophone Cultures	【フランス語圏言語文化研究・フランス語教育学】フランス語圏の言語文化をフランス語の言語政策・教育学とあわせて研究している。近年はとくに北米フランス語圏・ベルギーを中心に研究中である。 e-mail: komatsu.sachiko@ocha.ac.jp
教授 Professor ※	GSC 高桑 晴子 TAKAKUWA Haruko ☎(5227)	イギリス言語文化論 Language and Culture of Britain	【イギリス・アイルランド小説】極めて近代的な文学形態である小説というジャンルを文化的・社会的文脈において分析する。19世紀のイギリスおよびアイルランド小説を主にネーションとジェンダーという文脈で研究中。 e-mail: takakuwa.haruko@ocha.ac.jp
教授 Professor	田中 琢三 TANAKA Takuzo ☎(5241)	仏語圏言語芸術論 Literary Art in French-speaking Countries	【フランス近代文学】19世紀末から20世紀初頭のフランス文学と政治の関係、特に小説におけるイデオロギーの表象について研究している。 e-mail: tanaka.takuzo@ocha.ac.jp
教授 Professor ◎	野口 徹 NOGUCHI Tohru ☎(5228)	文法理論 Grammatical Theory	【文法理論】生成文法理論に基づき、統語論、意味論、形態論の諸分野の特性及び各部門間の関係を明らかにする。より具体的には、照応の問題を中心的な研究テーマとしている。 e-mail: noguchi.toru@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 山腰 京子 YAMAKOSHI Kyoko ☎(5224)	第一言語習得論 First Language Acquisition	【第一言語習得】生成文法理論に基づき、主に子供の母語習得の仕組みを探索。主なテーマは疑問文、数量詞、受身と使役など。 e-mail: yamakoshi.kyoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC ALLEN David Brian ALLEN David Brian ☎(5229)	第二言語（英語）教育論 Second Language (English) Education Theory	【第二言語習得研究】第二言語の語彙習得における第一言語の影響に関する研究を主とする。第二言語教育とテスト理論に基づいた評価に関する研究。言語テストの波及効果（washback）の研究もおこなっている。 e-mail: allen.david.brian@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	橋本 陽介 HASHIMOTO Yosuke ☎(5219)	中国近代文学論 Modern Chinese Literature	【中国文学】現代中国語、日本語を中心とした小説言語の文法、文体論など。 e-mail: hashimoto.yosuke@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	富 嘉吟 FU Kagin ☎(5216)	中国民間文化論 Studies on Chinese Folk Culture	【中国古典文献学】唐代を中心に、文献学的視点から古典文学を研究している。 e-mail: fu.jiayin@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	前田 佳一 MAEDA Keiichi ☎(5236)	独語圏文化論 Language and Culture of German-speaking Countries	【近現代ドイツ語圏文学】近現代のドイツ語圏文学、特に20世紀オーストリアの文学を中心に研究している。 e-mail: maeda.keiichi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC LOWE Robert James LOWE Robert James ☎(5226)	英語教育論 English Education Theory	【応用言語学】ネイティブ・スピーカー主義や国際共通語としての英語など、英語教育の批判的社会学に関するを研究している。 e-mail: lowe.robert.james@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor **	丸谷 徳嗣 MARUTANI Atsushi ☎(5231)	アメリカ言語文化論 American Language and Culture	【アメリカ文学・アメリカ南部文学】20世紀の南部文学を中心に、個人・地域共同体・国家の関係を通じて、倫理・道徳について考察している。 e-mail: marutani.atsushi@ocha.ac.jp
比較社会論領域 Comparative Social Studies			
教授 Professor ◎ **	新名 謙二 NIINA Kenji ☎(5268)	比較スポーツマネジメント論 Comparative Sports Management	【比較スポーツマネジメント論】スポーツ施設やスポーツ団体におけるマネジメント課題について、地域的比較あるいは時間的比較という視点からの分析を行う。 e-mail: nina.kenji@ocha.ac.jp
教授 Professor	安成 英樹 YASUNARI Hideki ☎(5181)	西洋近世史研究 Studies of Western Modern History	【フランス近世史】絶対王政期のフランス社会をフィールドとして、前近代ヨーロッパの政治的、社会的、国際的な特質を広く考究する。 e-mail: yasunari.hideki@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	阿部 尚史 ABE Naofumi ☎(5184)	イスラム歴史文化研究 Studies on Islamic History and Culture	西アジアでもとくにイランに焦点を当て、近世・近代における家族と女性の関係、ムスリム聖者廟、少数派（アルメニア教徒）、及び文化史などを研究している。 e-mail: abe.naofumi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ※	戸川 貴行 TOGAWA Takayuki ☎(5176)	アジア歴史文化研究 Studies on Asian History and Culture	【東アジア古代史研究】漢唐間の中国を中心として、古代東アジアの政治文化、国際秩序等の展開を新たな視点からとらえ直す。 e-mail: togawa.takayuki@ocha.ac.jp

表象芸術論領域 Arts and Representational Studies			
担 当 教 員 Position Name	授 業 科 目 Main Subject	研 究 テ ー マ 又 は 研 究 分 野	
教授 井上 登喜子 Professor INOUE Tokiko ☎(5281)	音楽表象論 Musicology, Culture and Representation	【音楽学】近現代の音楽文化形成について、社会的コンテキストのなかで、歴史的研究を行うとともに、国際的かつ時系列のデータベースを構築し、多文化横断的な実証研究に取り組んでいる。とくに上演文化、レパートリー形成、音楽活動とジェンダーの問題は、洋の東西を問わず関心をもつ。 e-mail: inoue.tokiko@ocha.ac.jp	
教授 小坂 圭太 Professor KOSAKA Keita ○☎(5278)	器楽演奏論 Instrumental Music	【ピアノ演奏】 ピアノという西欧近代特有の思考を体現するような楽器の演奏を通じ、「古典」の概念の検証を行うと同時に、ほとんど西欧化と同義語になっている今日の文化の「グローバル化」について考察する。 e-mail: kosaka.keta@ocha.ac.jp	
教授 鈴木 禎宏 Professor SUZUKI Sadahiro ☎(5798)	比較文化論 Comparative Study of Culture	【比較文化論】「比較文化論」という方法論を構築する一方で、それを用いた文化的事象の解明を目指す。 e-mail: suzuki.sadahiro@ocha.ac.jp	
准教授 岡 千春 Associate Professor OKA Chiharu **☎(5756)	臨床舞踊論 Theory of Clinical Dance	【臨床舞踊学】舞踊と社会がつながる場を対象とし、そこでの舞踊の意義および課題について、具体的な事例の質的調査を通して、多角的に考察することを目指す。 e-mail: oka.chiharu@ocha.ac.jp	
准教授 土谷 真紀 Associate Professor TSUCHIYA Maki ☎(5169)	比較芸術論 Comparative Study of Art	【日本美術史】物語絵画、とくに中世から近世初期にかけての物語絵画を中心に、イメージの生成と享受について研究している。 e-mail: tsuchiya.maki@ocha.ac.jp	
准教授 中村 美奈子 Associate Professor NAKAMURA Minako ※☎(5269)	民族舞踊論 Ethnic Dances	【民族舞踊学】インドネシア（バリ島）の舞踊を中心に、日本を含むアジア地域の民族舞踊の調査・研究を主な領域としている。理論と実践の両面からのアプローチを行い、舞踊記譜法などの分析手法を用いた舞踊の比較分析に関心を持っている。 e-mail: nakamura.minako@ocha.ac.jp	
准教授 難波 知子 Associate Professor NAMBA Tomoko ☎(5800)	服飾文化資源論 Costume and Cultural Resources	【日本服飾史】特に明治以降の服飾変遷に着目し、洋服の導入・普及とともに生じた和服の再編成・再解釈など、服飾をめぐる近代的な価値観や生活様式の形成を明らかにする。 e-mail: namba.tomoko@ocha.ac.jp	
准教授 新實 五穂 Associate Professor NIIMI Iho ☎(5802)	西洋服飾論 Western Dress Cultures	【西洋服飾史】近現代フランスを中心に、服装における社会表象を分析し、着衣行為をめぐる時代の心性を明らかにすることを目指す。 e-mail: niimi.iho@ocha.ac.jp	
講師 内山 尚子 Lecturer UCHIYAMA Naoko **☎(5170)	西洋美術論 Studies of Western Art History	【西洋近現代美術史】20世紀のアメリカ合衆国を中心に、「マイノリティ」に分類される芸術家による移動と「他者」表象に関心を持ち研究に取り組んでいる。 e-mail: uchiyama.naoko@ocha.ac.jp	
助教 福本 まあや Assistant Professor FUKUMOTO Maaya **☎(5265)	舞踊表現論 Theory of Dance Expression	【舞踊表現論】舞踊の教育的意義、社会的意義に関する既存の研究に整理・再検討を加え、そこから新たな研究課題と研究方法を創出し、人間と舞踊の関わりを複眼的に考察する。 e-mail: fukumoto.maaya@ocha.ac.jp	

人間発達科学専攻 Human Developmental Sciences		☎ 03-5978- (下記☎参照)	
教育科学領域 Educational Sciences			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 池田 全之 Professor IKEDA Takeyuki ☎ (5243)	比較教育思想史論 Philosophy of Education	【教育哲学】18世紀以降のドイツにおける人間形成論、とりわけ、ドイツ観念論や実在哲学やフランクフルト学派の思想を中心に、近代社会と理性の運命、そこから派生する人間的自由の成立条件や美の救済機能の検討を進めている。 e-mail: ikeda.takeyuki@ocha.ac.jp	
教授 大多和 直樹 Professor OTAWA Naoki ☎ (5245)	教育社会学論 Sociology of Education	【教育社会学】学校社会学、中等教育研究(おもに生徒文化論)、メディアと教育、高等教育論(おもに学生文化)などのテーマで実証的研究を行っている。 e-mail: owata.naoki@ocha.ac.jp	
教授 浜野 隆 Professor HAMANO Takashi ☎ (5248)	国際教育開発論 International Development and Education	【国際教育開発・協力】アジア・アフリカを中心とした発展途上国における教育の現状、国際機関の役割、国際協力のあり方などを具体的に検討している。研究の成果を実際の国際協力の実践に活用できるよう、現場との連携を常に念頭においている。 e-mail: hamano.takashi@ocha.ac.jp	
教授 富士原 紀絵 Professor FUJIWARA Kie ☎ (5472)	カリキュラム論 Curriculum Studies	【カリキュラム論・教育方法学】近現代日本の学校教育において、公的な教育内容・方法の組織された教育課程と、個々の学校レベルあるいは日々の事業の実践として展開されている教育実践、カリキュラムとの関係について研究を行っている。 e-mail: fujiwara.kie@ocha.ac.jp	
准教授 齊藤 彩 Associate Professor SAITO Aya ☎ (5198)	インクルーシブ教育論 Studies in Inclusive Education	【インクルーシブ教育・特別支援教育・障害児心理学】発達障害に関連する特性をはじめ、特別な支援ニーズのある多様な子どもの教育を取り巻く諸課題、心身の発達や心理社会的適応、家族支援についての実証研究を行っている。 e-mail: saito.aya@ocha.ac.jp	
准教授 武藤 世良 Associate Professor MUTO Sera ☎ (5246)	教育・発達・感情の心理学 Psychology of Education, Development, and Emotions	【教育心理学・発達心理学・感情心理学】人の生涯にわたる学習や発達、あるいは他者との関係性において、さまざまな感情の経験や個人差がいかなる影響を与えるかを心理学的に研究している。特に①尊敬や憧れ、畏敬などの感情、②感情の定義や理論、③感情の発達や機能に関心を抱き検討している。 e-mail: muto.sera@ocha.ac.jp	
心理学領域 Psychology			
教授 上原 泉 Professor UEHARA Izumi ☎ (5259)	発達心理学先端研究 Advanced Studies in Developmental Psychology	【発達心理学】認知発達(言語、記憶、実行機能、感情、遊び、退屈等)、自伝的記憶・ナラティブの生涯発達に関する研究を行っている。皆に共通する発達過程と環境や文化の影響を受けやすい発達過程に関心をもつ。 e-mail: uehara.izumi@ocha.ac.jp	
教授 大森 美香 Professor OMORI Mika ☎ (2561)	健康行動論 Research in Health Behavior	【健康心理学・臨床心理学】心身の健康と心理社会的要因の関連に関する研究を主としている。特に青年期以降の(1)ヘルスリスク行動、健康促進行動、食行動、(2)感情、認知、ストレス、ストレスマネジメントの方法、に関わる問題を扱っている。 e-mail: omori.mika@ocha.ac.jp	
教授 坂元 章 Professor SAKAMOTO Akira ☎ (5257)	メディア心理学 Media Psychology	【社会心理学】テレビ、デジタルゲーム、インターネット、スマートフォンなどの電子メディアによって人間の行動や発達にどのような影響があるか、悪影響を避けながらそれらを十分に活用するためにはどのように介入すればよいか。 e-mail: sakamoto.akira@ocha.ac.jp	
准教授 伊藤 大幸 Associate Professor ITO Hiroyuki ☎ (5771)	教育心理学研究 Educational Psychology Research	【発達心理学・教育心理学・心理計量学】広く人の認知・感情の仕組みやその発達の過程、またその研究や解析の方法論に関心を持つ。研究テーマは、①子どもの心の健康やコンピテンスの発達、②発達障害や各種心理特性のアセスメント、③縦断研究のための多変量解析手法など。臨床・教育実践や政策形成をバックアップするエビデンスの創出を志向している。 e-mail: ito.hiroyuki@ocha.ac.jp	
准教授 今泉 修 Associate Professor IMAIZUMI Shu ☎ (5534)	認知科学論 Cognitive Science	【認知心理学・実験心理学】人間の認知や知覚に関する行動実験を用いた研究が専門である。身体運動と認知の相互作用、自己意識や時間知覚や感情や記憶といった認知の諸側面、および認知や知覚の個人差について検討している。 e-mail: imaizumi.shu@ocha.ac.jp	
発達臨床心理学領域 Developmental and Clinical Psychology			
教授 石丸 径一郎 Professor ISHIMARU Keiichiro ☎ (5187)	青少年臨床論 Clinical Approach to Adolescence	【臨床心理学】LGBTQとの共生について心理学的に検討している。特に、性別違和の測定、職場や学校での支援、認知行動療法などの応用など。 e-mail: ishmaru.keiichiro@ocha.ac.jp	
教授 高橋 哲 Professor TAKAHASHI Masaru ☎ (5772)	非行臨床論 Juvenile Delinquency and Clinical Psychology	【犯罪心理学】非行少年や犯罪者に対する心理学的な査定と介入について研究している。特に、①再犯リスクアセスメント、②トラウマと嗜癖的行動、③自傷と他害に関心がある。 e-mail: takahashi.masaru@ocha.ac.jp	
教授 山田 美穂 Professor YAMADA Miho ☎ (5784)	障害臨床論 Developmental Disabilities	【臨床心理学】臨床実践・教育・研究における、身体を通した共感の活用について研究している。特にフォーカシングやダンス/ムーブメントセラピーの技法を用いたアセスメントおよび介入を研究テーマとしている。 e-mail: yamada.miho@ocha.ac.jp	
准教授 砂川 芽吹 Associate Professor SUNAGAWA Mebuki ☎ (5266)	コミュニティ心理学特論 Community Psychology	【障害児・者臨床心理学】発達障害のある子ども・人の臨床心理学的支援について研究している。特に、発達障害のある女の子・女性ならではの経験理解と支援に関心を持って取り組んでいる。 e-mail: sunagawa.mebuki@ocha.ac.jp	
准教授 平野 真理 Associate Professor HIRANO Mari ☎ (5780)	心理療法学 Systems of psychotherapy	【臨床心理学・パーソナリティ心理学】個々人のもつレジリエンス(回復・適応力)を包括的に理解し、その人らしい力を発揮していけるためのアセスメント、関係を通した心理支援、ICTを活用した予防的実践などに取り組んでいる。 e-mail: hirano.mari@ocha.ac.jp	
社会学・社会政策領域 Sociology and Social Policies			
教授 杉野 勇 Professor SUGINO Isamu ☎ (5171)	社会科学方法論 Social Science Methodology	【理論社会学・社会調査論】紛争や階層についての理論的考察と実証的調査研究、社会科学方法論や社会調査法研究。 e-mail: sugino.isamu@ocha.ac.jp	
准教授 宝月 理恵 Associate Professor HOGETSU Rie ☎ (5172)	歴史社会学 Historical Sociology	【医療社会学・歴史社会学】社会的存在としての人々がどのように健康や病を経験したのか、医学、身体、家族、教育、専門職、ジェンダー等の視点から歴史社会学的研究を行っている。 e-mail: hogetsu.rie@ocha.ac.jp	
准教授 三宅 雄大 Associate Professor MIYAKE Yudai ☎ (2590)	社会福祉政策論 Social Welfare Policy	【社会政策・社会福祉学】法・行政資料等に基づく制度研究、ならびに、当事者(生活保護制度の利用者等)を対象とした調査研究を通じて、社会保障制度(とりわけ公的扶助)の在り方を追究している。 e-mail: miyake.yudai@ocha.ac.jp	
保育・児童学領域 Child Studies			
教授 刑部 育子 Professor GYOBU Ikuko ☎ (5527)	幼児教育論 Early Childhood Education	【幼児教育学・発達心理学】保育・教育実践の現場に関心をもち、学習論・発達論の観点から保育・教育に関する実践的研究を行っている。 e-mail: gyobu.ikuko@ocha.ac.jp	
教授 西 隆太郎 Professor NISHI Ryutaro ☎ (5826)	保育関係論 Relations in Early Childhood Care and Education	【保育学・臨床心理学】保育とは、人と人との関係によって成り立つ営みであり、またその関係は子どもと大人がともに育つ相互的な性質をもっている。こうした保育的關係の中に自ら身を置く体験をもとに、保育学・精神分析学的事例研究の方法論を用いた研究を行っている。 e-mail: nishi.ryutaro@ocha.ac.jp	
准教授 辻谷 真知子 Associate Professor TSUJITANI Machiko ☎ (5270)	保育心理学 Childcare Psychology	【保育学・発達心理学】保育の場で子どもや保育者からみた多様な規範に関心をもち、目の前の保育実践から学びつつ観察・面接・質問紙調査等の心理学的手法を基盤とした研究を行っている。 e-mail: tsujitani.machiko@ocha.ac.jp	
講師 松島 のり子 Lecturer MATSUSHIMA Noriko ☎ (5253)	保育史論 History of Early Childhood Education and Care	【保育制度・政策史】保育・幼児教育に関する制度・政策の変遷や形成過程、全国的な動向と地域における実態を対象として、歴史研究を行っている。 e-mail: matsushima.noriko@ocha.ac.jp	

ジェンダー学際研究専攻 Interdisciplinary Gender Studies			
ジェンダー論領域 Interdisciplinary Gender Studies			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor 大森 正博 OMORI Masahiro ☎(5987)	生活者環境論 Social Science in Human Environments	【公共経済学・医療経済学】医療・介護制度を資源配分、所得分配の観点から分析し、望ましい医療・介護制度のあり方を考える。医療・介護制度の国際比較も行う。 e-mail: omori.masahiro@ocha.ac.jp	
教授 Professor 小谷 眞男 KOTANI Masao ☎(5787)	比較法社会論 Comparative Studies on Society and Law	【比較法史】＜生活＞の比較社会史・比較法文化史及びトランス・サイエンス論研究。特にイタリアを専門的フィールドとする。 e-mail: kotani.masao@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 申 琪榮 SHIN Ki-young ☎(5843)	比較政治論 Comparative Politics	【ジェンダーと政治、日韓比較政治、フェミニズム理論】女性運動の日韓比較、ジェンダー・クォーター、ジェンダー主流化政策、Transnational Feminismなど、ジェンダー・フェミニズムの視点から比較政治学の問いに取り組む。 e-mail: shin.kiyoung@ocha.ac.jp	
教授 Professor 斎藤 悦子 SAITO Etsuko ☎(5986)	生活経済論特論 Household Economics	【生活経済学、生活経営学】家計、生活時間をジェンダーの視点から分析する。特に雇用労働者世帯を扱い、企業と生活者の関係性に注目している。現在は、生活者が「企業の社会的責任」にいかに関係していくかを検討している。 e-mail: saito.etsuko@ocha.ac.jp	
教授 Professor 西村 純子 NISHIMURA Junko ☎(5788)	家族変容論 Family Sociology	【家族社会学】家族関係の変容とそのダイナミクスに関する実証的研究。特に、仕事と家族生活、子育てに関わる現象についての社会学的研究をおこなっている。 e-mail: nishimura.junko@ocha.ac.jp	
教授 Professor 長谷川 直子 HASEGAWA Naoko ☎(5196)	環境地理学 Environmental Geography	【自然地理学・気候学】気候変動（とくに温暖化）が湖に与える影響の解明。諏訪湖の結氷記録より過去の気候変動を解明する。環境問題や地理的視点の一般社会への普及の検討。 e-mail: hasegawa.naoko@ocha.ac.jp	
教授 Professor 宮澤 仁 MIYAZAWA Hitoshi ☎(5195)	福祉地理学 Welfare Geography	【都市地理学、福祉地理学、地理情報システム（GIS）】人口減少・少子高齢化に伴う都市・地域の問題を地理情報システムと地域分析手法を用いて分析し、生活・福祉の視点から課題解決に取り組む。 e-mail: miyazawa.hitoshi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 荒木 美奈子 ARAKI Minako ☎(5190)	国際協力論特論 International Cooperation	【開発研究、アフリカ地域研究】研究関心は、地域研究に基づく開発実践・研究、内発的發展、グローバリゼーションによる地域社会の変容などである。タンザニアを主なフィールドとしている。 e-mail: araki.minako@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC 大橋 史恵 OHASHI Fumie ☎(5341)	ジェンダー政治経済学 Gender and Political Economy	移住家事・ケア労働者の就労や生存をめぐる諸課題や彼女たちの社会運動について、主に中国・香港・台湾・日本でフィールドワークをおこないながら研究を進めている。またポスト冷戦期東アジアのジェンダー秩序や、そのなかで生起するトランスナショナルなフェミニズム運動にも関心をもっている。 e-mail: ohashi.fumie@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** キャロル マイルズ CARROLL Myles ☎(5191)	グローバル資本主義論 Global Capitalism	【日本の政治経済・国際政治経済・環境学】日本を中心に、戦後以降の政治経済秩序をめぐる理論研究、社会的再生産論を含めフェミニスト政治経済理論、政治経済の観点から気候変動が資本主義社会に与える影響や課題についての研究を行なっている。 e-mail: myles.carroll@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 倉光 ミナ子 KURAMITSU Minako ☎(2612)	地域研究論 Area Studies Methodology	【文化地理学、オセアニア地域研究】最近の研究関心は、オセアニア地域研究、特にグローバル化によるジェンダーと慣習への影響、移民女性の子育てなど。主なフィールドはサモアとニュージーランド。 e-mail: kuramitsu.minako@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 申 知燕 SHIN Jiyeon ☎(5188)	地域分析論 Regional Analysis	【人文地理学・移民研究】国際移住による都市空間の変容に関する実証的研究を行う。主に外国人や女性、性的マイノリティなど、社会的マイノリティのトランスナショナルな移住と都市生活に焦点を当て、アメリカ・イギリス・日本・韓国の事例を分析する。 e-mail: shin.jiyeon@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC デ アウカンタ マルセロ DE ALCANTARA Marcelo ☎(2084)	比較家族法論 Comparative Family Law	【家族法・比較法】親子法について、特に生殖補助医療に関連して生じた諸問題に関する研究を行っている。日本の家族法と諸外国の家族法との比較研究も行っている。家族法と国際化、家族法とジェンダーの問題にも関心がある。 e-mail: marcelo.de.alcantara@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 豊福 実紀 TOYOFUKU Miki ☎(5791)	公共政策論 Public Policy	【日本政治・比較政治・公共政策】政治学の観点から公共政策の研究を行っており、とくに女性の働き方にかかわる租税政策に注目している。 e-mail: toyofuku.miki@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor ** 脇田 彩 WAKITA Aya ☎(5794)	社会的不平等論 Social Inequalities	【社会調査法、社会階層論、ジェンダー論】社会階層やジェンダー等の属性による社会的不平等について、計量社会学の手法を用いながら研究を行う。職業とジェンダーの関連のほか、最近では地域内の社会階層と属性による格差にも注目している。 e-mail: wakita.aya@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer ** 王 一瓊 WANG Yiqiong ☎(5260)	多文化間心理学研究 Multicultural Psychology	【社会言語学、言語社会学】「ことばと社会」及び「ことばと教育」の関係性を批判的視点から再考する。多言語多文化のダイナミクスを踏まえながら、政策制度や社会構造が言語使用に及ぼす影響を考察し、社会的排除と包摂のメカニズムを理論的・実証的に探求する。 e-mail: wang.yiqiong@ocha.ac.jp	

ライフサイエンス専攻 Life Sciences			
生命科学領域 Biological Sciences			
担 当 Position	教 員 Name	授 業 科 目 Main Subject	研 究 テ ー マ 又 は 研 究 分 野
教授 Professor ※	GSC 植村 知博 UEMURA Tomohiro (5713)	植物オルガネラ動態学 Plant organelle dynamics	【細胞膜機能学】真核細胞のオルガネラの膜ダイナミクスと生理機能を明らかにする。ライブイメージングによる観察によって研究を進める。 e-mail: uemura.tomohiro@ocha.ac.jp
教授 Professor	清本 正人 KIYOMOTO Masato (0470-29-0838)	発生機構学 Developmental Mechanics	【発生生物学】棘皮動物を材料に、初期発生における細胞の分化や形態形成のメカニズムを明らかにする。具体的には、ウニ胚の骨片形成細胞の分化における誘導因子や細胞間の相互作用について、培養系を使って研究している。 e-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 嶋田 智 SHIMADA Satoshi (5356)	構造植物科学 Structure of Plant Sciences	【多様性生物学】どのような生物種がどれほどの地球上に存在しているのか？そもそも、どうやって生物は多様化してきたのか？という生物多様性に関する素朴な疑問を明らかにしたいと考えている。 e-mail: shimada.satoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor ◎	GSC 千葉 和義 CHIBA Kazuyoshi (5370)	細胞・発生生物学 Advanced Cell and Developmental Biology	【発生生物学】減数分裂や受精、初期発生過程において、細胞内外の情報がどのように伝達され、発生が制御されているのかについて研究している。 e-mail: chiba.kazuyoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 服田 昌之 HATTA Masayuki (5579)	生物圏科学 Biosphere Science	【進化生態遺伝学】海洋動物の進化史を遺伝・生態の側面から明らかにする。サンゴ礁生物の多様性やサンゴ礁修復技術についても研究している。 e-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 由良 敬 YURA Kei (5514)	計算構造生物学 Computational Structural Biology	【生命情報学】ゲノム塩基配列、タンパク質立体構造座標、タンパク質などの相互作用情報が膨大に収集されるようになった。これらの情報を利用して、酵素などの分子進化や生物腫の適用進化などを、計算生物学的に明らかにしていくことを目指す。 e-mail: yura.kei@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC 近藤 るみ KONDO Rumi (5372)	進化多様性 Evolution and Diversity	【ゲノム進化・進化遺伝学】生態や行動の多様性が生じるしくみを分子レベルで理解することを目的として、ショウジョウバエをモデル生物に用いて研究している。 e-mail: kondo.rumi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC 佐藤 敦子 SATO Atsuko (5377)	先端動物学 Frontier Zoological Approach in Life Science	【発生進化学】生物の発生が環境にตอบสนองしてどう変化し、どう進化するのか。大量データ解析と発生進化的手法を用いて解明する。 e-mail: sato.atsuko@ocha.ac.jp
講師 Lecturer **	岩崎 貴也 IWASAKI Takaya (5373)	植物進化多様性科学 Plant Diversity and Evolution	【植物進化多様性科学】野生植物の多様性を形成した進化史、そして現在の多様性を維持している生態メカニズムの解明を目的として、様々な野生植物を用いた研究を進めている。特に生物の分布に著目した生物地理学をベースに研究を展開している。 e-mail: iwasaki.takaya@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor **	GSC 毛内 拓 MONAI Hiromu (5303)	生体応答ダイナミクス Dynamics in Biological Responses	【生体組織機能学】脳が生きているとはどういうことか？生きた脳組織が機能する基礎原理について、非シナプスの相互作用の観点から解明を試みている。 e-mail: monai.hiromu@ocha.ac.jp
客員教授 Visiting Professor	小野 弥子 ONO Yasuko (東京都医学総合研究所)	シグナル伝達機構 Biological Signaling Mechanism	細胞内の調節的タンパク質切断酵素「カルパイン」の生理機能と構造機能相関について研究している。 e-mail: ono-ys@igakuken.or.jp
客員教授 Visiting Professor	正井 久雄 MASAI Hisao (東京都医学総合研究所)		【分子生物学】ゲノム複製の分子メカニズムの解明を基盤に、ゲノムの継承、安定性維持のメカニズム、その破綻によるがん細胞の形成などについて研究している。ゲノムの新しい機能シグナルとしての、グアニン4重鎖構造など、非標準型DNA構造の生物学的意義の解明も目指している。 e-mail: masai-hs@igakuken.or.jp
客員教授 Visiting Professor	丸山 千秋 MARUYAMA Chiaki (東京都医学総合研究所)		【神経発生学】脳神経回路が胎児期にどのように発生するのか、また哺乳類と非哺乳類での脳構造の違いやその進化のメカニズムについて、分子発生学的、比較進化的観点から研究している。 e-mail: maruyama-ck@igakuken.or.jp
客員教授 Visiting Professor	Martin Frith (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)	ゲノム情報学 Genome Informatics	【ゲノム情報学】コンピューターを利用した統計モデルにもとづき、比較ゲノミクスの手法を用いて、ゲノム塩基配列から機能および進化に関する情報を読み解く研究を進めている。 e-mail: m.frith@aist.go.jp
客員教授 Visiting Professor	山野 晃史 YAMANO Koji (東京都医学総合研究所)		細胞内のオルガネラの品質管理がどのように制御されているのか、その分子メカニズムを細胞生物学と生理学で明らかにし、新しい機構を同定することで、老化や神経疾患の根本的理解を目指す。 e-mail: yamano-kj@igakuken.or.jp
客員准教授 Visiting Associate Professor	宮岡 佑一郎 MIYAOKA Yuichiro (東京都医学総合研究所)		ヒトiPS細胞の遺伝情報をゲノム編集により操ることで、遺伝性疾患の発症機序解明と治療法開発を目指す。 e-mail: miyaoka-yi@igakuken.or.jp
(教授)	相川 京子	生体分子科学 The Structure and Function of Biomolecules	担当専攻「理学専攻」 化学・生物化学領域 糖鎖生物化学に同じ

理学専攻 Advanced Sciences		☎ 03-5978- (下記☎参照)	
数学領域 Mathematics			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor 下川 航也 SHIMOKAWA Koya ☎(5310)	位相幾何学 Topology	【トポロジーとその応用】結び目理論と3次元多様体論は活発に研究が行われているトポロジーの分野である。それらの研究と、高分子科学、超分子化学、材料科学への応用の研究を行っている。 e-mail: shimokawa.koya@ocha.ac.jp	
教授 Professor 竹村 剛一 TAKEMURA Kouichi ☎(5298)	数理解析論 Mathematical Analysis	【可積分系、特殊関数】可積分系と関係する複素変数の微分方程式や差分方程式の研究を行い、特定の系に対する理解の深化などの応用を目指す。関連して、楕円関数や超幾何関数に代表される特殊関数自体の研究も行う。 e-mail: takemura.kouichi@ocha.ac.jp	
教授 Professor 萩田 真理子 HAGITA Mariko ☎(2712)	組み合わせ構造論 Combinatorial Structure	【離散数学】M系列、差集合、ブロックデザイン、符号などの離散構造の存在性についての理論研究と、グラフ彩色、疑似乱数、暗号など情報セキュリティのための離散数学の応用研究を行っている。 e-mail: hagita.mariko@ocha.ac.jp	
教授 Professor 横川 光司 YOKOGAWA Koji ☎(5357)	ホモトピー数学 Homotopical Mathematics	従来の等号をベースにした数学から同値をベースとしたものへ移行したものがホモトピー数学である。ホモトピー数学により、これまで見ていなかった数学構造が捉えられる。研究テーマはこのホモトピー数学の論理的基礎づけとその幾何学への応用である。 e-mail: yokogawa.koji@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 久保 隆徹 KUBO Takayuki ☎(5300)	関数解析論 Functional Analysis	流体力学などに現れる現象を記述する様々な偏微分方程式に関する数学解析を行っている。フーリエ解析や、関数解析的・数値解析的な手法で現象の数学的理解を目指す。 e-mail: kubo.takayuki@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 篠田 万穂 SHINODA Mao ☎(5306)	確率解析論 Stochastic Analysis	【エルゴード理論】力学系における不変測度、とくに平衡測度や最大化測度と呼ばれる不変測度の研究を行なっている。さまざまな力学系における位相的な性質と不変測度の関連の研究を目指す。 e-mail: shinoda.mao@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 千葉 優作 TIBA Yusaku ☎(5311)	大域解析学 Global Analysis	一変数正則関数とは異なり、多変数正則関数はハルトークス現象といった特有の性質をもつ。このような興味深い性質を、シュタイン多様体やコンパクトケーラー多様体などの幾何学的な視点から研究する。 e-mail: chiba.yusaku@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC ツァン・シンイー TSANG Sin Yi ☎(5301)	代数構造論 Algebraic Structures	【群論・Skew brace論】群のholomorphやskew braceと呼ばれる代数的構造を中心に研究を行なっている。 e-mail: tsang.sin.yi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 戸田 正人 TODA Masahito ☎(5305)	大域幾何構造論 Global geometry	位相構造など空間の大域的性質を距離構造や複素構造などの空間上の幾何構造との関連から研究する。多様体などの位相構造の分類を行なうことを目的として、幾何構造上で展開される解析学を援用して、空間に生ずる特異性の解析を行なう。 e-mail: toda.masahito@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer 植木 潤 UEKI Jun ☎(5309)	数理多様体構造論 Mathematical Theory of Manifolds	【数論的位相幾何学】素数と結び目、代数体の整数環と3次元多様体の類似性に端を発する様々な研究を行っている。 e-mail: ueki.jun@ocha.ac.jp	
物理科学領域 Physics			
教授 Professor 奥村 剛 OKUMURA Ko ☎(5321)	ソフトマテリアلزの物理 Physics of Soft Materials	【ソフトマター物理・化学物理】理論と実験の両面から、ゲル、液晶、破壊、粘弾性、表面張力、濡れ、粉粒体などをキーワードにソフトマター物理学の研究をしている。場の理論、経路積分、非平衡統計力学などの手法を基礎にした、溶液の多次元レーザードیفракショントモグラフィーなどの研究の柱である。 e-mail: okumura.ko@ocha.ac.jp	
教授 Professor 小林 功佳 KOBAYASHI Katsuyoshi ☎(5314)	ナノスケール物理 Nano-Scale Physics	【メソからナノスケールの物理、表面物理】最近の微細加工技術や走査プローブ顕微鏡等の進歩により、原子やナノのスケールでの物性測定や人工構造物の作成が可能になった。このスケールに特有の新たな物理現象を探る目的で理論的な立場から研究を行っている。 e-mail: kobayashi.katsuyoshi@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 曹 基哲 CHO Gi-Chol ☎(5330)	ゲージ理論 Gauge Theory	【素粒子物理学理論】電弱相互作用、強い相互作用を記述するゲージ理論に基づき、高エネルギー領域における素粒子現象を研究する。超対称性の存在、質量の生成機構、高次元空間の可能性等を検証するための研究も行う。 e-mail: cho.gichol@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 出口 哲生 DEGUCHI Tetsuo ☎(5322)	非線形現象解析 Analysis of Nonlinear Phenomena	【数理物理学・物性基礎論】非線形性は多様な自然現象の中で重要な役割を果たす。非線形性のために系は単なる部分の和でない、全体として特有の性質を示す。ソリトンの逆散乱法やペーテ仮説法などの数理物理学の手法を用いて、水面の波動、量子スピン系の厳密解、結び目と物理、高分子など幅広いテーマを総合的に研究する。 e-mail: deguchi.tetsuo@ocha.ac.jp	
教授 Professor GSC 古川 はづき FURUKAWA Hazuki ☎(5317)	強相関物理 Strongly correlated electron system	【強相関電子系の研究】強相関電子系物理という視点から、(1)空間反転対称性の破れた超伝導体LaNiC ₂ の特異電子状態、(2)重い電子系超伝導体CeCoIn ₅ の磁性と超伝導の相互関係、(3)銅を含まない酸化物超伝導体Sr ₂ RuO ₄ 系の超伝導対称性、を研究する。 e-mail: furukawa.hazuki@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 北島 佐知子 KITAJIMA Sachiko ☎(5941)	統計物理学 Statistical Physics	【量子情報・非平衡統計力学】量子情報の理論的研究を行う。また、非平衡ダイナミクスの視点から量子系の基礎的諸問題の解明に取り組む。 e-mail: kitajima.sachiko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC 河野 能知 KONO Takanori ☎(2057)	高エネルギー物理 High Energy Physics	【素粒子物理学実験】CERNで行われている高エネルギー陽子・陽子衝突実験ATLASに参加して、最高エネルギーでの素粒子現象の測定および新粒子の探索などの研究を行っている。また半導体飛跡検出器の開発も行っている。 e-mail: kono.takanori@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 左右田 稔 SODA Minoru ☎(5319)	応用物性科学 Applied Condensed Matter Science	【固体物性】磁性・強相関電子系における実験的研究を行う。磁気秩序と強誘電性が共存するマルチフェロイクスの起源解明や幾何学的フラストレーション磁性体・低次元磁性体等における新規磁性相の探索に取り組む。 e-mail: soda.minoru@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer 赤城 裕 AKAGI Yutaka	統計物理学 Statistical Physics	【物理学物理学(理論)】場の理論等の知見を活かし、数値計算も駆使しながら、物理学を中心とした理論研究を行っている。とりわけ、トポロジカル磁性-非自明なトポロジーが本質的な役割を果たす磁性-を1つの主要なテーマとしつつ、最近では素粒子論や量子情報等にも関わるような、学際的研究領域のテーマにも興味を持って研究に取り組んでいる。 e-mail:	
講師 Lecturer 高橋 遼 TAKAHASHI Ryo ☎(5934)	応用物理科学 Applied Physics	【スピントロニクス】スピン流を生成する、あるいはスピン流を起因・仲介とする新規物性現象の発見に向け、実験的研究を行っている。微細加工により作製した薄膜やマイクロ回路構造を用い、特に低融点金属を対象とした、力学運動が有する角運動量とスピン流の相関効果を研究する。 e-mail: takahashi.ryo@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer 藤田 智弘 FUJITA Tomohiro ☎(5312)	宇宙天体物理学 Space and Astrophysics	【宇宙天体物理学】我々の住む宇宙で起る様々な現象を現代物理学を駆使して解明していく。特に宇宙の始まりや、その構成要素、成り立ちなどを調べる宇宙論の理論研究に重点を置き、天文観測や地上実験も援用しながら世界をリードする研究を目指す。 e-mail: fujita.tomohiro@ocha.ac.jp	

理学専攻 Advanced Sciences

03-5978- (下記☎参照)

化学・生物化学領域 Chemistry and Biochemistry

担 当 教 員	授 業 科 目	研 究 テ ー マ 又 は 研 究 分 野
Position	Name	Main Subject
教授 Professor	GSC 相川 京子 AIKAWA Kyoko ☎(5345)	糖鎖生物学 Glycobiology 【糖鎖生物学、細胞生化学】糖鎖修飾によるタンパク質の細胞内局在や分泌性、生理活性の調節機構の解析と、レクチンの生理機能の探索を行う。 e-mail: aikawa.kyoko@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 近藤 敏啓 KONDO Toshihiro ☎(5347)	ナノ界面化学 Nano-Interfacial Chemistry 【ナノ界面物理化学・分析電気化学】電気化学反応（電極/溶液界面の電子移動反応）を定量的に理解することおよび燃料電池やセンサなどのナノテクノロジーにつながる分子デバイスを構築することを目的として、原子・分子のレベルで構造制御した界面を構築し、電子移動反応を追跡するとともに、界面の構造変化をその場追跡する。 e-mail: kondo.toshihiro2@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 棚谷 綾 TANATANI Aya ※☎(2716)	超分子構造化学 Advanced Supramolecular Chemistry 【構造有機化学・医薬化学】芳香族有機分子の立体特性や集合体形成を基盤として、新規機能性分子を創製する。また、生理活性物質の設計、合成へと応用し、疾患治療を目指したケミカルバイオロジー研究をおこなう。 e-mail: tanatani.aya@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 矢島 知子 YAJIMA Tomoko ☎(5715)	機能性有機化学 Functional Organic Chemistry 【合成有機化学・有機フッ素化学】新規有機合成法を開発し、その手法を用いて合成した化合物の機能の探索を行う。特に有機フッ素化合物に着目し、医薬品、機能性有機材料等への応用を目指す。 e-mail: yajima.tomoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC 伊村 くらら IMURA Clara ☎(5291)	ナノ構造材料化学 Nanostructured Material Chemistry 【機能性ナノ材料、コロイド・界面化学】界面化学の視点から、触媒材料、光学材料へとつながる金属ナノ結晶の形態制御とその機構解明を行う。さらに、分子間相互作用にもとづく低分子化合物とのハイブリッド材料を構築し、分野横断的なアプローチからの新規な機能性開拓にも積極的に取り組む。 e-mail: imura.clara@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC 近松 彰 CHIKAMATSU Akira ☎(5335)	固体物理化学 Physical Chemistry of Solids 【固体物性化学、固体反応化学、機能材料化学】原子レベルで制御する結晶成長法に様々な化学反応を組み合わせて、新しい機能物性を持った固体物質を創出する研究を行う。また、先端分析技術や理論計算を活用し、化学反応機構・物性発現機構を解明する研究にも取り組む。 e-mail: chikamatsu.akira@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor **	GSC 三宅 亮介 MIYAKE Ryosuke ☎(2649)	機能性錯体化学 Advanced lecture on functional coordination chemistry 【錯体化学・超分子化学】金属錯体をデザインし、さらに構造変換に基づき物性変換することにより省エネルギー・高効率の機能創出を目指しています。分子レベルでの観測・理解に基づいて、精密な機能設計・制御を行います。特に構造特性やデザイン性に着目してペブデド金属錯体結晶を軸に研究を進めています。 e-mail: miyake.ryosuke@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC 宮崎 充彦 MIYAZAKI Mitsuhiro ☎(5717)	分子分光化学特論 Molecular Spectrochemistry 【物理化学、分子分光学】分子間の凝集構造の解明、分子運動・化学反応のダイナミクスについて、分光測定を主たる手段とした実験的研究を行う。複数のレーザー光を利用した電子・振動分光、時間分解分光を気相分子クラスターに適用し、理論計算も援用しつつ微視的な視点から化学現象の解明を目指す。新たな分光法、光源の開発など新規研究手法の開発にも取り組む。 e-mail: miyazaki.mitsuhiro@ocha.ac.jp
講師 Lecturer **	GSC 大金 賢司 OHGANE Kenji ☎(5731)	細胞機能化学 Cellular Biochemistry 【ケミカルバイオロジー・生命科学】ユニークな生物活性を有する低分子化合物の探索を通して、生命現象を分子レベルで理解し、制御する方法の開発を目指す。 e-mail: ohgane.kenji@ocha.ac.jp
講師 Lecturer **	GSC 桑原 拓也 KUWABARA Takuya ☎(5350)	物理有機化学 Physical Organic Chemistry 【典型元素化学・有機金属化学】典型元素の特性を活かした新奇芳香族・反芳香族化合物の合成と性質解明に取り組む。また、高価な遷移金属にしかみられない反応性や触媒反応を安価な典型元素化学種でも実現させることを目指す。 e-mail: kuwabara.takuya@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor **	GSC 黒木 菜保子 KUROKI Nahoko ☎(5348)	複雑系分析化学 Analytical Chemistry of Complex Systems 【理論化学、計算化学、溶液物理化学】機能性溶液の性質を理解するための分子シミュレーションを推進しています。溶液内のエネルギーや電子状態のゆらぎを可視化し、環境化学や生命科学を支える分子挙動の解明や新材料の開発を目指しています。 e-mail: kuroki.nahoko@ocha.ac.jp

理学専攻 Advanced Sciences			情報科学領域 Computer Science	
担当	教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野	
Position	Name	Main Subject		
教授 Professor	GSC 浅井 健一 ASAI Kenichi ☎(5388)	プログラム変換論 Program Transformation	【プログラミング言語】部分評価を始めとするプログラム変換、部分継続の理論と応用、型理論、プログラムの正当性の証明、自己反映言語など、おもに関数型言語に軸足を置いたプログラミング言語の理論と応用について研究を行っている。 e-mail: asai@is.ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 伊藤 貴之 ITO Takayuki ☎(5700)	画像情報論 Visual Informatics	【情報可視化】情報を画面上でビジュアルに表現する諸技術について研究する。具体的な適用事例として、科学技術や社会現象の理解、機械学習やデータサイエンスの支援、画像・音楽・文章などの各種メディアの対話的分析などを目的とした情報可視化について研究する。 e-mail: itot@is.ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 小口 正人 OGUCHI Masato ☎(5379)	情報ネットワーク論 Information Network	【ネットワークコンピューティング】ネットワークにより接続された種々の計算機資源を互いに連携させ、高度なデータ処理を行うためのネットワークコンピューティング・ミドルウェアの研究を行う。 e-mail: oguchi@is.ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 工藤 和恵 KUDO Kazue ☎(5380)	量子情報科学論 Quantum Information Science	【量子コンピューティング、統計力学】量子コンピュータまたはイジングマシンを利用した計算による研究、および量子ダイナミクスの研究を行なっている。 e-mail: kudo@is.ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 小林 一郎 KOBAYASHI Ichiro ☎(5708)	知能情報処理論 Advanced Intelligent Information Processing	【知能情報処理、言語情報処理】近年、知的といわれるコンピュータシステムをつくるのに、言語など様々なモダリティがメディアとして活用され、その役割が大きくなっている。本講義では知的な情報サービスを実現するために言語を中心とするメディアがどのような表現され、知的な情報処理として利用されるのかについて考察する。また、Web上などで実現されてきている意味を対象にした情報処理技術についても議論する。 e-mail: koba@is.ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 戸次 大介 BEKKI Daisuke ☎(5378)	情報構造解析論 Advanced Applied Analysis	【数理言語学】自然言語の、主に統語論、意味論、語用論に対して、記号論理、ラムダ計算、圏などの数理論理的アプローチを用いた分析を行っている。 e-mail: bekki@is.ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC 五十嵐 悠紀 IGARASHI Yuki ☎(5398)	ヒューマン・コンピュータ・インタラクション論 Human-Computer Interaction	【ヒューマンコンピュータインタラクション、グラフィックス】人間とコンピュータの対話手段であるHCI技術について、生活空間で誰もが利用可能な未来のコンピュータのあり方を研究する。また、グラフィックス表現を用いた初心者のための支援技術についても研究する。 e-mail: yuki@is.ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC オベル加藤 ナタナエル Nathanael AUBERT-KATO ☎(5773)	分子ロボティクス論 Molecular Robotics	計算能力を持つ化学反応ネットワークのシミュレーションと分析を行なっている。また、そういうシステムの設計のため、進化的戦略アルゴリズムを研究している。 e-mail: naubertkato@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC 桑名 奈奈 KUWANA Anna ☎(5396)	気象数理論 Mathematics in Meteorology	【数値流体力学】流体現象に対する数値計算、および数値計算の手法に関する研究を行う。また教育現場とくに遠隔教育での計算機やネットワークによる支援を研究する。 e-mail: kuwana.anna@is.ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC 坂田 綾香 SAKATA Ayaka ☎(5386)	統計数理論 Statistical Mathematics	【統計的機械学習・統計物理】統計物理の視点から、統計学や機械学習の課題を研究行っている。統計モデルの性能評価や、推論アルゴリズムの開発を通して、統計的機械学習の理論的理解を深めることを目指す。 e-mail: ayakasakata@is.ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC 長尾 篤樹 NAGAO Atsuki ☎(5384)	計算複雑性理論 Theory of Computational Complexity	【計算量理論、アルゴリズム論】我々の生活に存在する実問題の多くは離散的なモデルで表現することができるが、それらの最適解を現実的な計算リソースで求める事が難しい場合がほとんどである。解決という行為が、扱う問題や使用可能な計算資源によってどのような違いがあるのかを解析し、また、特定の問題に対してより効率的なアルゴリズムの開発、その理論的保障の解析を行う。 e-mail: a-nagao@is.ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC LE Hieu Hanh LE Hieu Hanh ☎(5235)	データ管理活用論 Data Management and Application	【データ管理活用論】多種大量なデータを蓄積し有効に活用することが求められる中、信頼性の高いデータ格納方法や高速なデータ処理および高度なデータ分析等を実現するために、データ管理活用に関する研究を行う。 e-mail: le@is.ocha.ac.jp	
講師 Lecturer	GSC 神山 翼 KOHYAMA Tsubasa ☎(5384)	気象数理論 Mathematics in Meteorology	【気象学・物理気候学・大気海洋データ解析】地球の気象・気候の現在の姿とふるまいはどのように決定されているのかについて、特に応用数学・情報科学的視座から明らかにすることを旨とする。 e-mail: tsubasa@is.ocha.ac.jp	
講師 Lecturer	GSC 室屋 晃子 MUROYA Koko ☎(5383)	プログラム変換論 Program Transformation	【プログラミング言語理論・プログラム意味論】プログラム実行の多角的な数理モデリングを通じて、プログラムの振る舞いを数学的かつ厳密に比較・説明するための研究を行っている。 e-mail: kmuroys@is.ocha.ac.jp	
(准教授)	北島 佐知子	非可換解析論 Noncommutative Analysis	理学専攻 物理科学領域 統計物理学に同じ	

【参考】生活工学共同専攻を志望する者は、「生活工学共同専攻学生募集要項」（別冊子）で出願すること。

2025年6月1日現在

生活工学共同専攻			☎ 03-5978-（下記☎参照）
担 当 教 員 Position	授 業 科 目 Name	Main Subject	研 究 テ ー マ 又 は 研 究 分 野
教授 GSC Professor ○	太田 裕治 OHTA Yuji ☎(5739)	生活支援工学 Life Support Engineering	【人間工学】我々の生活と直接関連する生活支援機器、高齢者支援機器、人工臓器等の医用福祉機器の開発に関する工学的基礎研究を行う。生体システムを深く解析すると同時にシンセシス（設計）と技術評価に重点をおきつつ研究を進めている。 e-mail: ohta.yuji@ocha.ac.jp
教授 GSC Professor	大瀧 雅寛 OTAKI Masahiro ☎(5748)	環境衛生工学特論 Environmental Sanitation Engineering, Advanced Course	【環境工学】安全で快適な生活環境を確保するために、環境因子（主に水環境）が人間に与える様々な影響を評価する手法、及びそれらを管理制御する技術について工学的に検討、研究を行う。 e-mail: otaki.masahiro@ocha.ac.jp
教授 GSC Professor	近藤 恵 KONDO Megumi ☎(2551)	生活環境史特論 Living Environment History, Advanced Course	【自然人類学】ヒトの生物としての特徴を理解するため、現生の生体人類だけでなく、化石人類も研究対象とする。ヒトの身体に対する理解をより深め、それを踏まえて生活における身体に関わる諸問題について研究する。 e-mail: kondo.megumi@ocha.ac.jp
教授 GSC Professor	長澤 夏子 NAGASAWA Natsuko ☎(5743)	建築環境論 Architectural Planning Theory	【建築人間工学】都市や建物の利用者および環境にやさしい建築をつくるために、人間の生活、行動や身体とそれを取りまく環境について工学的なアプローチで、建築空間の設計の根拠を提示する研究をおこなう。 e-mail: nagasawa.natsuko@ocha.ac.jp
教授 GSC Professor	元岡 展久 MOTOOKA Nobuhisa ☎(5585)	建築設計学 Architectural Design	【建築意匠論】建築は何を表現するのか？様々な建築の実例を通じて、建築形態を分析し、設計の意図ならびに方法を研究する。 e-mail: motooka.nobuhisa@ocha.ac.jp
准教授 GSC Associate Professor	秋元 文 AKIMOTO Aya ☎(5746)	先端医療材料工学特論 Advanced Medical Materials Engineering	【生体材料工学】医療現場や基礎医学・生物学の研究現場で活用できる生体材料の創製を目的として、構造-物性相関解析を基盤とした高分子材料の機能化を行う。 e-mail: akimoto.aya@ocha.ac.jp
准教授 GSC Associate Professor **	河合 英徳 KAWAI Hidenori ☎(5917)	居住空間環境学特論 Residential Space Environmental Science	【建築環境工学】建築の内外に形成される微気象（主に熱環境、風環境）を数値解析や観測により明らかにしながら、頻発する極端気象や気候変動に適応した生活空間の環境設計手法やその評価技術に関する研究を行う。 e-mail: kawai.hidenori@ocha.ac.jp
准教授 GSC Associate Professor	トリベッテ ジュリアン TRIPETTE Julien	身体行動・健康論 Physical Behavior and Health Theory	【健康・運動科学】非感染性疾患を防ぎ健康寿命を延ばすことで生活の質を向上させることを目的とし、ウェアラブルセンサーなどを使用して、行動の認識または身体活動量の評価方法等の新しい手法について研究を行う。 e-mail: tripette.julien@ocha.ac.jp
准教授 GSC Associate Professor **	藤山 真美子 FUJIYAMA Mamiko ☎(5477)	デザイン工学論 Design Engineering Theory	【都市・建築デザイン学】都市・建築空間を構成する自然、技術、生活等の重層的構造について検証を行うとともに、次世代社会における都市・建築デザインの可能性について工学的理論と芸術的感性の総合的視点から研究を行う。 e-mail: fujiyama.mamiko@ocha.ac.jp
講師 GSC Lecturer **	土田 修平 TSUCHIDA Shuhei ☎(5242)	エンターテインメントコンピュー ティング特論 Special lecture of entertainment computing	【情報工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、計算機工学】 e-mail: tsuchida.shuhei@ocha.ac.jp